

岩手山

○概況

火山活動は穏やかに経過しました。

黒倉山山頂の噴気の状態に変化はありませんでした。

地震活動の状況

火山性地震の月合計回数は26回でした（2月55回）。

- ・東岩手山（山頂付近）では、震源が精度良く求まる地震はありませんでした（2月なし）。

また、山頂東側のやや深いところ（海面下10km前後）を震源とする低周波地震もありませんでした。

- ・西岩手山（大地獄火口～姥倉山）では、震源が精度良く求まる地震はありませんでした（2月1回）。

- ・岩手山西側では、滝ノ上付近を震源とする規模の小さな地震が引き続き発生しています。

火山性微動は観測されませんでした。

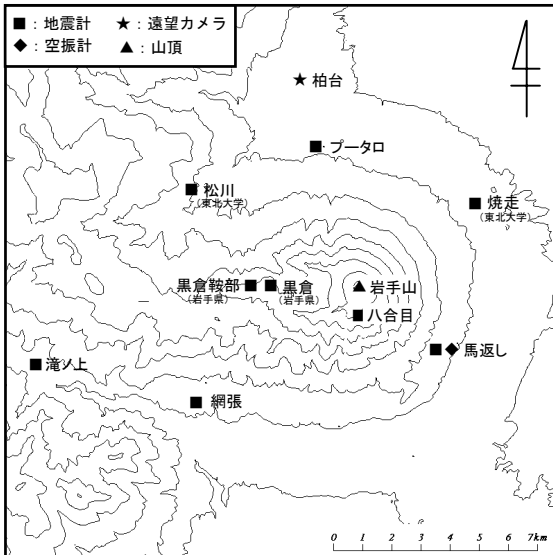
モホ面付近（深さ30km前後）が震源とみられる低周波地震は、3回観測されました（2月16回）。

噴気活動等の状況

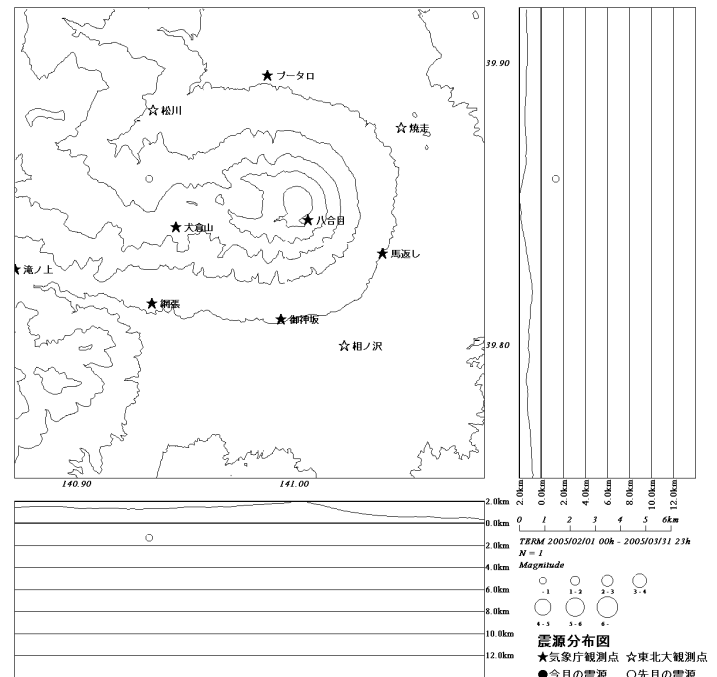
遠望観測（監視カメラ）で、黒倉山山頂の噴気の高さは80m以下で変化はありませんでした。

22日に東北地方整備局の協力により行った上空からの火山観測で、岩手山山頂、大地獄谷、黒倉山山頂の噴気・地熱地帯の状況などに変化はありませんでした。

※この資料は、東北大学及び気象庁のデータを基に作成しています。



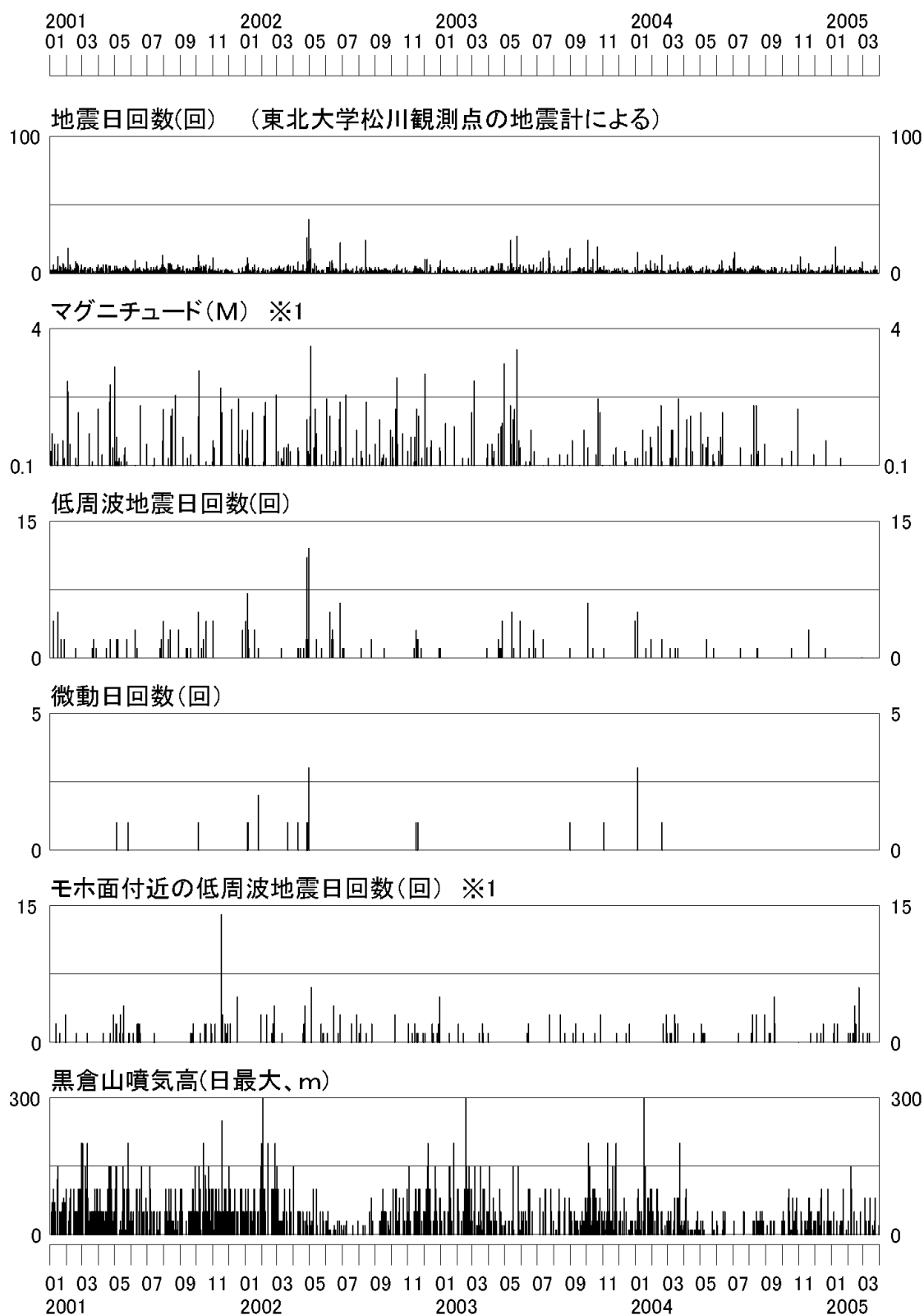
岩手山火山観測点配置図



岩手山震源分布図(2005.2.1～2005.3.31)

岩手山 活動一覧

2001/01/01～2005/03/31



※1 弘前大学、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。

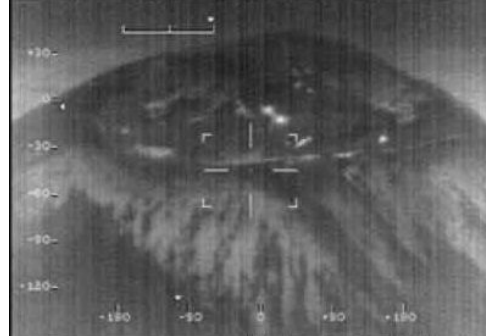
2005年3月22日東北地方整備局ヘリによる機上観測結果（岩手山）

①岩手山山頂部

前回（2004年3月）と比較して今年は積雪が多かったため、妙高岳の地熱の高い部分がはっきり確認され、地熱領域などに変化はなかった。また、御室火口内は雪に覆われ地温の異常はなかった。



可視画像（2005年3月）



赤外画像（2005年3月）

②大地獄谷付近

主噴気孔の噴気の高さは約10mで、硫黄の塔も確認された。雪解けの状況と赤外線カメラの映像から、噴気地熱地帯の拡大や新たな地熱箇所はなかった。



可視画像（2005年3月）



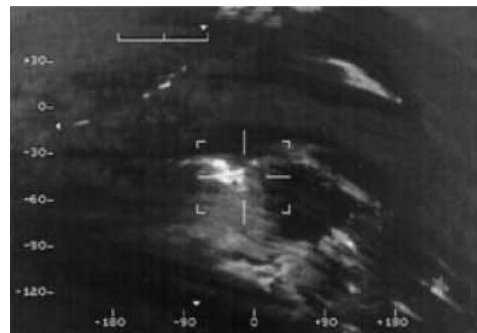
可視画像（2004年3月）

③黒倉山から姥倉山鞍部

黒倉山山頂付近では高さ20mの噴気を観測した。気象庁の遠望監視カメラで観測している平常値である。円形裸地、鞍部の地熱地帯の領域に変化はなかった。



可視画像（2005年3月）



赤外画像（2005年3月）